

公告 昭 26.5.30 出願 昭 24.8.6 實願 昭 24-12239

出願人 考案者 明智政長 大宮市上小町478

代理人 担理士 相川正次郎

ポン煎餅機に於ける焼持押壓装置

図面の略解

図面は本案を示す側面図なり

實用新案の性質、作用及效果の要領

本案は2枚の焼持1を直ねて其の中に材料を入れ之を押壓状態の下に加熱し次で急に其の押壓を弛めて煎餅を作る所謂ポン煎餅機に於て焼持1を押壓する装置に関する即ち押杆2を本體3に固定せる案内筒4に設置し其の上端に連杆5の一端を接着し本體3の上部に固定せる軸受6に横杆7の中部を接着し其の先端に連杆5の他端を接着し本體3の下部に固定せる軸受8に足踏杆9の中部を接着し其の先端を連杆10を介して横杆7の末端に連絡す11は押杆2の引上用バネにして12は押杆2下端に噛合せる調整ネジなり本案は足踏杆9を足にて押下ぐる時は連杆10を介して横杆7の末端を押上げ連杆5を介し押杆2を押下し焼持1を押壓するものなり

一般にポン煎餅機に於ては把輪を手にて回轉しネジを利用して焼持1を押壓し焼持1内の材料が焼ける迄此の状態を保持する必要あり而して焼持1内には高き蒸氣壓が發生するため押杆が押上げられ従つてネジが逆轉せんとするため手に力を入れて把輪を保持するを要す此のため手が疲労するのみならず此の時間中は他の仕事を爲し得ざる缺點あり

本案は押壓状態に於ては連杆5横杆7の3軸が略一直線となることによりて外部より力を殆んど加へざるも押壓状態を保持し得るも押壓する場合には押壓の終期に於て比較的軽くて強力に押壓

し得て押壓を確實になし且押壓中に於ても手を自由に使用し得る便あり而も調整ネジ12にて押杆2の全長を調整する爲リンクのみにて強力なる押壓作業を確實に確行し得るものなり

登録請求の範囲

図面に示す如くポン煎餅機に於て押杆2に調整ネジ12を噛合し押杆2に連杆5の一端を接着し其の他端を横杆7の先端に接着し足踏杆9の先端を連杆10を介して横杆7の末端に連絡したる焼持押壓装置の構造

